野球人京都

発行
京都野球協会
事務局／京都府京都市下京区七条通新町西入夷之町698 アイアイビル

健康機能寝具総発売元
株式会社 アイアイ
代表取締役　佐々 嘉孝（協会会長）

新会長挨拶

佐々嘉孝新会長

この度、平成二十九年度定期総会において承認を受け、乾会長の後任として京都野球協会会長の職を仰せつかることになりました佐々嘉孝と申します。

昭和五十五年の設立以来諸先輩方が野球の健全なる普及発展を図る目的のもと築き上げられてきた伝統ある協会の会長職をお受けするにあたっては身に余る重責でないかと随分思案しました。しかしながら、お受けしました以上、誠心誠意全力で務めさせて頂く所存です。まだまだ若輩者ですので、原田理事長をはじめ会員の皆様にご協力いただき、より良い京都野球協会を築いて行きたいと考えております。

かつて日本で一番身近で人気のあるスポーツだった野球ですが、現在若年層の野球人口は激減しており、その人気に陰りを見せております。野球を取り巻く環境の中で様々な問題点も浮き彫りになってきております。生涯スポーツとしての野球復活のため、今後は他団体との連携を強化しながら京都野球界の発展の為に尽力して参ります。皆様方からも引き続きご指導・ご支援賜ります様宜しくお願い申し上げます。

2017総会報告

昨年二月二十四日に新・都ホテルにて第三十七回定期総会が開催された。

乾前会長、竹中元理事長をはじめ前年に亡くなられた会員の方々のご冥福を祈り黙祷が献げられた。

会長代行の椹木副会長が挨拶後、山下副会長の司会、会長代行の議長で議事に入った。事業報告、収支決算報告の承認の次に新たな会長として株式会社アイアイの社長、佐々嘉孝氏の提案があり、満場一致で承認された。

任期満了に伴う役員の改選後、佐々新会長の議長により平成二十九年度の事業計画、予算そして第四回の京都野球殿堂顕彰者の竹中清二氏、清水茂氏も全て満場一致で承認された。

二部の懇親会に入り、来賓からの祝辞、乾杯の発生をいただき、和やかなうちに進められ、女子プロ野球「京都フローラ」の新原監督と二名の選手の登壇で一層盛り上がった中で閉会となった。

〈ご来賓紹介〉
徳廣　剛氏（京都府文化スポーツ部スポーツ振興課長）
横山　克久氏（京都市文化市民局スポーツ振興課長）
中本　博氏（京都軟式野球連盟理事長）

今年度の総会は二月二十四日です。詳細案内は同封の別刷にて。

賛助会員

当協会の活動主旨にご賛同いただいております企業、団体名です（順不同）

日本電気化学㈱
㈱京都銀行
帝産観光バス㈱
㈱ジーエス・ユアサ
㈱堀場製作所
村田機械㈱
宝ホールディングス㈱
㈱ヤブサダイナミック
㈱ニチダイ
㈱島津製作所
日本新薬㈱
西京運輸㈱
㈱鳴海餅本店
梅井建設㈱
集建産業㈱
ナガセケンコー㈱
割烹きたむら
森嶋法衣店
㈱スポーツアクトーアスポーツ
㈲全正舎運動具店
京都中央信用金庫
㈱東邦
㈱アイアム・ダスキンフクエ
東宝企画工芸㈱
㈱ワコール
㈱わかさ生活
㈱アイアイ
㈱エルハウジング
佐川印刷㈱
㈱久保田運動具店
京都信用金庫軟式野球部
韓国京都青年会議所
京都府・市中学体育連盟
京都府野球連盟
東山高校野球部OB会
京都外大西高等学校
京都リトルシニア野球協会
日本少年野球連盟京都府支部
日本女子プロ野球機構
京都五百歳野球連盟
（以下のチームは単独でも）
大谷OBクラブ
鴨沂シニアクラブ
桂高校クラブ
京一商西京クラブ
京商OBクラブ
嵯峨野クラブ
城南クラブ
同志社クラブ
塔南高校OBクラブ
花園OBクラブ
堀川クラブ
峰山高校OBクラブ
宮津高校OBクラブ
桃山金城クラブ
立命館クラブ
右京少年野球振興会
宇治少年野球連盟
乙訓少年野球連盟
上京少年野球振興会
亀岡少年野球連盟
北区少年野球振興会
左京区少年野球振興会
中京少年野球振興会
西京少年野球振興会
西京都少年野球振興会
伏見少年野球連盟
南京都少年野球連盟
同　城陽支部
同　南山城支部
南区少年野球振興会
山科学童野球振興会
八幡市少年野球連盟

ご協力有難うございます。

総務委員会

◆平成二十九年度事業報告

○役員会開催　七回
○機関紙「野球人京都」第三十七号　一月十五日発刊
○第三十七回総会　懇親会開催二月二十四日　新・都ホテル
○機関紙「会報」第四号六月一日発刊

普及委員会

◆平成二十九年度事業報告

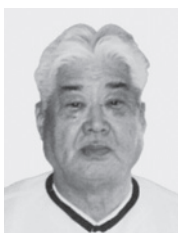
〔主催事業〕
○日本新薬の学童野球教室
○第三十回学童野球フェスティバル
府内各連盟や支部の代表十七チームが出場。大住クラブ（田辺）が西城陽MVクラブを六対二で破り優勝を飾る。

○第二十三回京都野球祭
十一月十九日　わかさスタジアム京都にて、五百歳野球オールスター戦、第三十回学童野球フェスティバル決勝（前記）
第六十七回京都市中学校秋季大会決勝を開催。下京中学が梅津中学を延長九回で〇―〇、十回タイブレークの末、二対一で破り初優勝を飾る。両チームが府下大会に進出（結果は後記）
○第三回硬式野球入門教室
七十名の中学三年生が参加し八月二十二日より十二月三日までに十回開催、龍谷大学野球部、京都教育大学野球部の協力を得て実施した。本年からは株式会社アイアイのグラウンドにて実施する予定である。
〔後援事業〕
○八幡学童野球審判講習会の指導
○第三十回京都五百歳野球大会
○第二十五回全京都大学野球トーナメント大会
優　勝　京産大
準優勝　京都学園大
ベスト4　同志社大　立命館大（二年振り六度目）
○日本新薬主催少年野球教室
○京都市長杯リトルシニア野球大会
東海、北陸、近畿から三十六チームが出場。京都からの七チーム中、京都丹後が四強に。綾部もベスト八と健闘した。
○ニチダイ主催学童野球教室
○全国大会出場チームお祝
京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねて金品を贈る
一、大学選手権　京都学園大
二、都市対抗　日本新薬
三、高校選手権　京都成章高
四、中学全国大会　桂中学野球部
Bクラブを破り二年連続四回目のV。
◆京都軟式野球連盟◆
十八支部でA級八十九、B級一五九、C級三一七、（S級（四十歳以上）は大会毎に出場チームを募集）の五六五チームが加盟
A級
○国民体育大会
SECカーボン㈱がスーパードラゴンズを破り近畿予選も突破して本戦出場をはたす。岩手チームに勝つも三回戦で石川チームに一―二で惜敗する。
○天皇賜杯第七十二回大会
佐川印刷㈱がSECカーボン㈱を破り本戦へ。前年度優勝の大分銀行など五試合を連破し決勝へ進出も愛知の和合病院に〇―一で優勝を逃す。
○スポニチ杯
第一回全日本軟式野球大会
天皇賜杯のV、準V、東日本選手権のV　静岡ガス㈱、西日本選手権のV　佐藤薬品工業㈱（奈良県）の四チームで軟式野球日本一を決める大会を明治神宮野球場にて開催。佐川印刷㈱は静岡に勝つも天皇杯と同じく和合病院に〇―一で破れ惜しくも準優勝に終る。
B級
○高松宮賜杯第六十一回
全国大会一部
佐川印刷プリンターズがファイターズクラブを破って近畿大会へ。奈良県チームに勝ち本戦へ出場も初戦で青森チームに敗れる。
C級
○高松宮賜杯第六十一回
全国大会二部
KrushがREDBULLを破り近畿へ進出も和歌山チームに敗れ本戦への出場成らず。
S級
○日本スポーツマスターズ二〇一七
福知山スターズが朱雀ライズを破り近畿予選へ。奈良チームに勝利し三十二チーム出場の本戦へ進出も栃木の氏家O・Bに惜敗。

京都野球殿堂第四回顕彰者

竹中氏

①竹中清二（昭四～平二八）同志社中・同志社高商（現同志社大）卒業後、京都クラブの一員として都市対抗に出場。昭四十二年から同志社高、五十九年からは同志社大の監督として後輩育成に尽力した。高校、大学、社会人の審判も長く勤め京都の審判組織の基礎を築いた。
平九年から二十三年まで京都野球協会の理事長を務め平十四年には野球界発展に寄与した功績が認められ勲六等瑞宝章を授賞する。
②清水　茂（昭八～平十九）花園高在学中の昭二十三年に野球部を創設。立命館大学四年生時に花園高校の初代監督に就任する。
平十年の勇退まで実に四十五年に渡って采配をふるい春と夏に各一回甲子園出場をはたし、その間多くのプロ野球選手を輩出した。
平成元年から六年間、京都府高等学校野球連盟の理事長を勤めるなど生涯を高校野球の発展に捧げた。


清水氏

京都野球殿堂委員会

六月十七日に第四回の顕彰者パネル除幕式を門川市長をはじめ多数のご来賓、顕彰者ご遺族をお迎えして盛大に開催した。

2017新入会員

賛助会員
㈱エルハウジング
㈱ワコール
㈱わかさ生活
㈱アイアイ
佐川印刷㈱
日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）京都府支部
㈱久保田運動具店
個　人
佐々嘉孝　河村　正
中井秀晃　坂根耕世
高垣昌吉

2017京都球界

祝 全国優勝

同志社大学準硬式野球部（全日本大学準硬式選手権）（七年振り六度目）
京都文教大学軟式野球部（全日本大学軟式選手権）（初優勝）
西京ビッグスターズ（全日本少年軟式野球大会）（五年振り三度目）

社会人野球

〈硬式〉
◆京都府野球連盟◆
企業チーム三、クラブチーム十一、四三三名が登録されている。
○第八十八回都市対抗野球
日本新薬が近畿地区第三代表として四年連続三十四回目の出場も初戦にて東芝に二―四と惜敗する。
○第四十三回日本選手権
日本新薬がJABA四国大会（選手権出場権対象）、伊勢大会と優勝して十年連続二十回目の出場、新日鐵住金鹿島、日本通運、パナソニックと破りベテラン、若手がうまく噛み合い選手権初の準決勝に進出も日本生命に〇―一で惜敗する。

日本新薬

〈軟式〉
◆京都還暦軟式野球連盟◆
〔古稀の部〕
六チーム一五二名で春秋各二試合のリーグ戦を展開。
○第二十七回日本古稀大会
前年実績から京都シニアスターズ古稀と京都オールディーズが出場。シニアスターズが四試合を勝ち進み四強に。又、西日本大会には京都ファイターズ、京都オールディーズ、福知山古稀倶楽部が出場。ファイターズが初戦を突破。
〔還暦の部〕
十三チーム三一〇名が春秋総当りのリーグ戦で競う。
○第三十三回全日本選手権（初めて京都にて開催）
前年実績から京都シニアスターズ、峰山シニアクラブ、開催地枠で福知山倶楽部の三チームが出場。シニアスターズがベスト八、峰山は三回戦まで進出した。
○第十九回全国選抜大会
前年実績から京都クラブ、京都桂クラブで京都クラブが三回戦まで進出。
◆京都五百歳野球連盟◆
二十五チーム七〇八名の京都の元高校球児が春、秋にトーナメントで競う。
○創立三十周年記念行事
※三十周年記念誌発刊
※記念祝賀会　二月二十六日、二三二名の出席で新・都ホテルにて。洛陽工O・B、元プロ野球の選手、監督で大活躍された岡本伊三美氏の記念講演。
※三月四日　開会式を全チーム三五〇名参加で太陽ヶ丘球場で入場行進を実施。

○第三十回大会
大谷OBクラブが決勝で京一商西京クラブを破り二年連続十回目の優勝。
○第九回秋の交流試合
東山東友クラブが平安O

大学野球

〈硬式〉

◆関西学生野球連盟◆
（連盟設立三三五周年）

○春のリーグ戦
（1近大）
2立命
（3関大）
（4関学）
5同大
6京大

○秋のリーグ戦
（1関大）
2立命
（3近大）
（4関学）
5同大
6京大

東投手

◆関西六大学野球連盟◆
（連盟設立三十五周年）

○春のリーグ戦
（1大商大）
（2神院大）
（3大経大）
4京産大
（5大院大）
6龍谷大

○秋のリーグ戦
（1大商大）
2京産大
（3大院大）
（4神院大）
5龍谷大
（6大経大）

春、秋ともに京都の大学は優勝成らず、全国大会への出場を逃す。

※立命館大の東投手がDeNA、立命館大からホンダ鈴鹿の山足内野手がオリックスに又育成ながら東山高から関大の小山捕手が巨人に氏名された。

◆京滋大学野球連盟◆

○春のリーグ戦
一部
1学園大
2佛教大
3花園大
（4ひわこ成蹊スポーツ大）
5教育大
6福公大

春、秋ともに京都の大学は優勝成らず、全国大会への出場を逃す。

※龍谷大の石田投手が育成ながら中日に指名された。

第六十六回全日本大学選手権に学園大が二年振り七回目の出場も初戦で関六の大商大に惜敗する。

二部
1大谷大
（2滋賀大）
3工織大
4京外大
（5滋県大）
6府立大
7京薬大

入替戦は大谷大が福知山公立大に勝ち二季振り一部に昇格

京都学園大学

○秋のリーグ戦
一部
1佛教大
2学園大
（3ひわこ成蹊スポーツ大）
4大谷大
5花園大
6教育大

明治神宮大会出場をかけ関西地区大会（五連盟から二校が本大会進出）に佛教大が出場したが大商大（関西六大学）大阪市大（近畿学生）に破れ本大会への出場を逃す。

二部
（1滋賀大）
2福公大
（3滋県大）
4工織大
5京外大
6府立大
7京薬大

入替戦は滋賀大が教育大を破り今春は二十四季振りに一部に昇格する。

〈準硬式〉

○第六十九回全日本大学準硬式選手権大会

関西七リーグによる予選を経て京都からは同志社大学（関西六大学連盟）が二十四チーム出場の本大会へ。

決勝で中央大学を四―三で破り七年振り六度目の優勝に見事輝く。

同志社大学

○秋季関西大会

関西七リーグの代表校によって開催。京都からは同志社大学、京都産業大学（西都六大学）、龍谷大学（京滋六大学）の三校が出場。決勝で同志社が六―一で京産大を破って連破。

○第四十九回全日本選抜大会

京都産業大学が出場しベスト四まで進出した。

〈軟式〉

○第四十回全日本選手権

全国二十三連盟の優勝校にて開催。京滋連盟の京都文教大が十七年連続の出場。

決勝で北関東の作新学院大を四―二で破り見事初栄冠をつかむ。

京都文教大学

関西六大学連盟からの立命館大は三回戦で京都文教に敗れた。

○第三十四回西日本大会

西日本十連盟よりの二十校にて開催。京都文教がベスト四に。立命館は京都文教に負けてベスト八、同志社大（関西六大学）もベスト八へと進出した。

高校野球

◆京都府高等学校野球連盟◆

〈硬式〉

○第八十九回センバツ大会

一昨年秋の近畿大会で東山、京都翔英、龍谷大平安の三校ともが初戦で敗退にて五年振りに出場成らず。

○春の大会

平安が綾部を決勝で破り二年振り二十八回目の優勝も近畿大会では初戦に彦根東に惜敗する。

○第九十九回全国選手権大会

京都成章が決勝で平安に打ち勝ち十九年振り三回目の出場を果たす。初戦の神村学園（鹿児島）に九回に追いつくもサヨナラで惜敗する。

○秋の大会

乙訓が決勝で翔英を破り初優勝。両校が近畿大会へ進出し乙訓は神港学園（兵庫）智弁学園（奈良）を破って堂々ベスト四に。準決勝で智弁和歌山に惜敗するもセンバツ出場に大きく前進。翔英は初戦で大阪桐蔭に力負けした。

※京都翔英出身の山本捕手がDeNAに指名された。

〈軟式〉

○春の大会

東山が延長十回で立命館を破り二年振り十六回目の優勝。近畿大会では阪南大高に勝利するも二回戦で比叡山に惜敗する。

○第六十二回全国選手権大会

立命館が決勝で東山を破り三年振り九回目の優勝を飾るも全国大会出場をかけた近畿予選（滋賀、和歌山、奈良、京都）の決勝で天理に延長十一回〇―一で涙する。

○秋の大会

東山が京都学園を決勝で破り二年振り十六回目の優勝。両校が近畿大会へ進出。東山は初戦で天理に、京都学園は初戦突破も二回戦で村野工業（兵庫）に破れる。

◆京都府高等学校
定時制野球連盟◆

府内では四校、四十五名がプレイしている。

○春季大会

桃山高校が優勝し第五十八回近畿大会へ出場。ベスト四まで進出した。

○第六十四回全国大会

春に続き優勝した桃山高校が本大会へ出場するも全国十連覇を達成した天理に初戦で敗れる。

〈女子硬式〉

◆全国高等学校
女子硬式野球連盟◆

現在、京都では京都外大西、京都両洋、福知山成美の三校一二二名が活動している。

○第十八回全国高校選抜大会

二十三校出場で成美が三試合を勝ち抜き四強に。両洋は準々決で成美に、西は初戦で両洋に破れた。

○第二十一回全国高校選手権

二十六校出場で成美が駒沢学園女子、村田女子（共に東京）を破るも履正社（大阪）に破れ四強、西は八強、両洋も初戦突破した。

○第十回字規記念杯西日本大会

成美が四年振り三回目の優勝に輝く。

○第三回西日本広島大会

両洋が成美を破り初優勝。

※侍ジャパン女子代表コーチに成美の長野監督が就任。又、代表選手に成美の大野投手、阿部内野手、両洋の安達外野手が選出され第一回アジアカップで全勝優勝に貢献した。

※日本女子プロ野球機構に成美の白石選手が内定。

中学野球

〈硬式〉

現在、京都では以下の四リーグで三十二チーム九八名がプレイしているが、全国では他にフレッシュ、ジャパンの計六リーグがある。（サンリーグはボーイズに合併）

◆日本少年野球連盟
（ボーイズリーグ）◆

現在、京都では十五チーム五四五名がプレイしている。

○第四十七回春季全国大会

京都嵐山ボーイズが京都南山城ボーイズに勝ち全国大会に出場する。北杜ボーイズ（山梨）に勝つも二回戦で宮崎西部ボーイズに破れる。

○第四十八回全国選手権大会

府予選優勝の京田辺ボーイズは八幡西ボーイズ（北九州）に勝つも大分明野ボーイズに、予選二位の京都西京極ボーイズは町田ボーイズ（東京都西）に勝つも山形東部ボーイズにと共に二回戦で惜敗した。

※南山城ボーイズ出身の村上外野手が巨人に、嵐山ボーイズ出身の牧投手が阪神にリストアップされた。

◆全日本少年硬式野球連盟
（ヤングリーグ）◆

府内では八チーム二〇〇名がプレイしている。

○第二五回春季全国大会

前年実績から京都一位の京都フレンド少年硬式野球協会（本年よりのチーム名、京都ヤングフレンド）と同二位の京・相楽硬式野球クラブ（同、京・相楽ヤング）が出場。相楽がベスト十六まで進出した。

○第二十五回全国選手権

府予選の結果、春と同じ二チームが本戦へ。京都フレンドが八強に。

○第二十五回東関西秋季大会

東関西ブロックの全三十六チームで開催。京都フレンドが優勝、オール山城硬式野球部（本年よりオール山城ヤング）が準優勝と大活躍した。

京都フレンド

○ヤングリーグ
グランドチャンピオン大会

リーグ各大会上位十六チームで開催。京都フレンドが松山、岡山のチームを連破、新居浜ヤングスワローズに破れるも三位に。

◆日本リトルシニア
中学硬式野球協会◆

現在、府内で八チーム、二二六名がプレイしている。

○第二十三回全国選抜大会

○第四十四回日本選手権大会

残念ながら両大会とも府内のチームは関西連盟代表としての予選で敗退し本大会への出場はならず。

○第七回西日本選手権

京都リトルシニアが府代表として出場し福岡南リトルシニアに惜敗する。

◆日本ボニーベースボール協会◆

京都ボニー球団が第一回全日本センバツ中学硬式野球大会に関西代表として出場。第四十三回日本選手権は関西予選で敗退した。

〈Kボール〉

◆京都府KWB野球連盟◆

平成二十九年よりKボール専門のチームが残念ながらなくなりました。軟式チームから引退した三年生が夏以降に高校野球までの期間活動している。

○第九回ナガセケンコー杯
京都府KWB秋季大会

京都丹後ベースボールクラブ、向日ストロングス、宇治クラブの三チームが出場した。

〈軟式〉

◆京都府中学校体育連盟◆

現在、府内で一四八校（合同チームになることもあり）一四二チーム、約三五五〇名が活動している。

○第三十九回全国大会

城北（中丹地区一位）六人部・三和合同（同二位）加悦谷（丹後）園部（口丹）立命館（山城一位）北宇治（同二位）桂（京都一位）下京（同二位）花山（同三位）九条（同四位）の十校で府代表を決める第七十回府大会で園部が桂を破り優勝を飾る。両校が近畿予選に進出。

園部は和歌山の日進に惜敗するも桂は湖北（滋賀）三田学園（兵庫）天理（奈良）決勝で日進をも二―〇で勝利し近畿大会連覇を達成。

桂中学校

二十五チーム出場の本大会に二年連続二回目の出場で千葉県の七林中学に勝ち八強進出も優勝した北海道の白翔中学に七回サヨナラ二―三で惜敗する。

春の大会は府内各ブロックまでで、秋の大会は各々の代表校で府下大会が行われ京都市大会同様下京が梅津を破り優勝。四強に蒲生野（口丹）と男山第三（山城）が入った。

◆京都軟式野球連盟◆

十二支部二十チームがクラブチームとして活動しているが大会には中体連の上位チームも参加している。

○第八回全日本
少年春季軟式野球大会

一昨年、秋の近畿予選で奈良の新庄中を破り出場権（近畿より三チーム）を得ていた西京ビッグスターズが三二チーム出場の本戦へ進出したが初戦で鹿児島の伊仙合同中に破れる。

○第三十四回全日本
少年軟式野球大会

府内クラブ二十チームと中体連十七チームで予選を行い西京ビッグスターズが花山中を破り近畿へ。大阪、奈良のチームを破り十六チーム出場の本戦へ。神奈川、栃木、北海道のチームを連破し決勝では石川の星稜中を二―一で破り五年振り三度目の優勝を飾る。

○第三十四回全京都
少年軟式野球選手権大会

クラブ二十チーム、中体連十四チームが出場。南シニアフリーダムが京都ベアーズを破りV。第四十一回近畿大会でも滋賀、大阪、兵庫を破り優勝に輝く。

南シニアフリーダム

○近畿少年秋季大会
（第十回会長杯）

京都ベアーズが東山ライダースを破り近畿へ、準優勝に輝き、今春の全国大会へ出場を決める。

小学野球

〈硬式〉

◆日本少年野球連盟
（ボーイズリーグ）◆

現在三チーム四十一名が府内でプレイしている

○第四十七回春季全国大会

滋賀、京都、兵庫、奈良での予選にて敗退のため本大会には出場ならず。

○第四十八回全国選手権大会

京都二条ボーイズが大津ボーイズに勝ち三年ぶり九回目の本戦へ（十五チーム出場）。準決勝で八幡西ボーイズ（北九州）に惜敗する。

◆リトルリーグ関西連盟◆

府内では南京都チームだけになったが二十一名が元気にプレイしている。

○サンスポカップ

○第五十一回ザバスカップ

ともに一回戦で敗退するも、

○ゼット杯第三十三回
関西連盟秋季大会

では二回戦へ進出した。

〈軟式〉

◆京都軟式野球連盟◆

（学童の部）

十七支部一八二チームが加盟している。

○第四十六回中信杯春の大会

一四九チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が西城陽MVクラブを二―〇で破り初頂点に。準優勝の西城陽MVクラブが第三十二回阿波おどりカップに出場も広島チームに惜敗する。

○高円宮賜杯第三十七回
全日本学童軟式野球大会
（小学生の甲子園大会）

春の中信杯ベスト十六チームで府予選。葛野ジュニアスポーツ団が向日ウィングスを破り五十一チーム出場の本大会へ。初戦突破も三回戦で熊本チームに惜敗する。

○第四十九回中信杯夏の大会

一五三チームが出場し決勝で池田ファイターズ（伏見）が岡屋スポーツ少年団（宇治）を三―二で破り初栄冠。両チームが近畿大会に出場。池田は八強、岡屋は四強と健闘した。

（ジュニアの部）（四年生以下）

十支部三十チームが加盟

○第四十六回中信杯春の大会

三十チームが出場し決勝で篠少年野球クラブ（亀岡）が西山少年野球クラブ（乙訓）を一―〇で破り優勝を飾る。

○第四十九回中信杯夏の大会

四十三チームが出場し柊野ブラックジャガーが久御山バファローズCを延長六回タイブレークの末三―二で破り頂点に。両チームが近畿大会へ出場したが共に初戦で惜敗した。

◆京都府少年野球連絡会◆

○第七回京都府少年野球
連絡会旗争奪大会

六十二チーム出場の府予選で優勝した桂坂ファルコンズ、準優勝の葛野ジュニアスポーツ団、ベスト八の桂友クラブの三チームが五十三チーム出場の第十回村田兆治旗大会に。葛野が見事優勝。桂坂も八強に進出。桂友は初戦で姿を消した。

第七回龍馬旗大会（六十五チーム出場）には予選ベスト十六の大住クラブ、巨椋少年野球倶楽部、メッツ伏見桃山クラブの三チームが出場。大住はベスト八、巨椋は三回戦進出、伏見桃山も初戦突破と健闘した。

第五回野球のまち阿南全国大会（三十チーム出場）には予選ベスト十六の木津スーパーレッズが出場。ベスト八まで進出した。

◆京都府スポーツ少年団◆

○第三十九回
全国スポーツ少年団大会

府代表として嵯峨野シルバースポーツ少年団が近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

各連盟、協会、チームのご協力ありがとうございました。